

このような要求及び努力がどの程度達成されつつあるかは、今回のような調査からは検討できかねる。然し昭和35年3月の卒業生一現役と、それ以前の卒業生一浪人との各教科の小問に対する正答状況はこのことについてある程度何事かを物語ってくれるように思われるので、以下この点について検討を加えることにする。

“選抜のための学力検査結果の調査”の処理にあたっては現役はその受験者の15分の1、浪人にその総べての答案について反応分析を行ない、更に教科の各小問について、その正答率を求めた。

ここに得られた現役についての正答率は、15分の1の標本についてのものであって、現役全員のものではない。それ故にこれを浪人のそれと直接比較してその大小を論ずることはできない。そこで現役の15分の1の標本の正答率から信頼度95%の信頼区間を設定し、これに浪人の正答率が含まれる場合は、現役組と浪人組の成績は等しく、区間の外で大きい方であれば、浪人組の成績は現役組以上、小さい方であれば以下と判断する。

国語

30問のうち53.3%にあたる16問は浪人、現役共に同じ成績を示している。浪人組が上位の成績であったものは、〔一〕ア書取、〔五〕2:語い、〔六〕1:俳句の鑑賞とであるが、これらと同じねらいをもった〔一〕イ、〔五〕1、〔六〕2では逆に現役より下位の成績を示している。このことから、特にどの領域のどのような能力を見る問題において、特に浪人組が良い成績であったということとはできない。

現役に対する浪人の位置づけ —国語—

浪人 < 現役		浪人 = 現役		浪人 > 現役	
〔1〕	2	〔5〕	3	〔1〕	1
〔1〕	3	〔6〕	2	〔2〕	1
〔1〕	1	〔6〕	4	〔2〕	2
〔3〕	2	〔3〕	1	〔5〕	6
〔3〕	3	〔3〕	4	〔5〕	7
〔3〕	8	〔3〕	5	〔5〕	8
〔4〕		〔3〕	6	〔5〕	9
〔5〕	1	〔3〕	7	〔6〕	3

社会

30の小問のうち、浪人はその20.0%に相当する数の小問の成績が現役より悪く、逆に36.7%に相当する数の小問においては成績がよかった。

成績の良いものは、〔2〕東南アジアの米産地に関する問題、〔5〕民主政治の組織と運営に関する問題、〔9〕歴史上の事件の年代に関する問題など、知識的な問題であり、悪いのは〔4〕日本の貿易—輸出、輸入—についての、戦前(1934~1936年の平均)と戦後(1954年)のグラフ—4つの帯グラフ—を読みとらせる問題、〔8〕月別発電量を示したグラフを読む問題など、比較的高度の理解、思考力をみる問題である。

現役組に対する浪人組の位置づけ —社会—

浪人 < 現役		浪人 = 現役		浪人 > 現役	
〔1〕	②	〔1〕	①	〔6〕	(1)
〔1〕	④	〔2〕	(1)②	〔6〕	(3)
〔4〕	(2)①	〔3〕	(1)	〔7〕	(2)
〔4〕	(2)②	〔3〕	(2)	〔8〕	(2)②
〔7〕	(1)	〔3〕	(3)	〔9〕	(2)
〔8〕	(2)①	〔4〕	(1)	〔9〕	(3)
		〔5〕	(2)	〔6〕	(2)
				〔7〕	(3)
				〔1〕	③
				〔2〕	(1)①
				〔2〕	(2)
				〔5〕	(1)
				〔6〕	(3)
				〔8〕	(1)
				〔8〕	(3)
				〔9〕	(1)
				〔9〕	(4)

数学

浪人組は僅かに1問—14—において、その成績が劣ったのみで、半数において現役組とおなじ成績を、残りの14問は優れた成績を示している。これら成績の優れていたものは、〔1〕(1)~(4)、〔3〕(1)~(3)、〔4〕、〔5〕(2)、など、数・式の基礎的なもの及び〔9〕三角形の相似、〔13〕〔12〕図形の性質、座標や式のグラフに関する基本的なものである。

現役組に対する浪人組の位置づけ —数学—

浪人 < 現役		浪人 = 現役		浪人 > 現役	
〔14〕		〔1〕	(5)	〔7〕	②
		〔2〕	(1)	〔8〕	(1)
		〔2〕	(2)	〔8〕	(2)
		〔3〕	(4)	〔10〕	(1)
		〔3〕	(5)	〔10〕	(2)
		〔5〕	(1)	〔11〕	
		〔6〕		〔15〕	
		〔7〕	①	〔3〕	(3)
				〔1〕	(1)
				〔1〕	(2)
				〔3〕	(3)
				〔4〕	(12)
				〔1〕	(4)
				〔1〕	(15)
				〔3〕	(1)
				〔3〕	(2)
				〔3〕	(3)
				〔5〕	(2)①
				〔5〕	(2)②
				〔9〕	
				〔13〕	(1)
				〔13〕	(2)

理科

浪人組は15の小問において現役組より良い成績を示し、2つの小問では成績が悪く、残りの13問では同じ成績となっている。

生物、物理、化学、地学の領域別では、地学が6問のうち4問は現役組より成績がよく、次は生物が8問のうち4問、物理が9問のうち4問、化学が7問のうち3問となっている。

現役組より成績の悪かった〔3〕は、熱容量の深い理解—体積・熱・比熱温度相互の関係—〔4〕(2)は溶解曲線についての理解、及び思考力を見ようとするものである。後者のようなグラフを通しての問題解決は、社会の場合にも見られたごとく、浪人組にはにが手であったものと思われる。

現役組に対する浪人組の位置づけ —理科—

浪人 < 現役		浪人 = 現役		浪人 > 現役	
〔3〕		〔1〕	(2)	〔15〕	(1)
〔4〕	(2)	〔2〕	(1)	〔15〕	(2)
		〔4〕	(1)	〔16〕	(2)
		〔7〕		〔16〕	(3)
		〔8〕	(2)	〔17〕	
		〔9〕		〔8〕	(1)
		〔12〕		〔8〕	(3)
		〔13〕		〔8〕	(4)
				〔8〕	(5)
				〔1〕	(1)
				〔2〕	(2)
				〔5〕	(1)
				〔6〕	(2)
				〔8〕	(1)
				〔11〕	
				〔14〕	
				〔16〕	(1)
				〔8〕	(6)
				〔8〕	(7)
				〔10〕	(1)
				〔10〕	(2)

音楽

浪人組は7つの小問において現役組より成績が悪く、